

## 刊行にあたって

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。おかげさまで、前作『歯科医療専門弁護士 小畑真の歯科事件簿《患者・治療編》』は多くの方に手に取っていただきました。

今回は第2弾として、スタッフとの関係や対外的な契約トラブルを中心に、すべて実際にご相談いただいた事例から、25の“歯科医院トラブルあるある事例”をピックアップし（なぜか《患者・治療編》よりも1ケース増えました [笑]）、前作と同様、法的視点から実践的な対処法やトラブル予防についてケースごとに4コマ漫画を掲載し、自分事としてイメージしやすい形で解説しています。

今回も、月刊デンタルダイヤモンドで連載した内容をベースとしていますが、本書だけに書き下ろしたケース（CASE08・CASE16・CASE25）や新たに契約書のチェックリスト（p.087）を加えるなど、さらに充実した内容になっています。

また、本書は、院長だけではなく、すべての歯科医療従事者に参考となる一冊に仕上がっていることに加えて、ほとんどの事例で、医科でも一般企業でも参考になる内容となっているのが特徴です。

これまでいただいたご相談ケースをみていると、最近ではスタッフとの法律関係や対外的な契約については、間違った知識や慣習が原因でトラブル化しているケースが多くなっています。そのため、本書は、前作よりも耳が痛いと感じる人が多いかもしれません。

本書で取り上げた“事件”は、職場環境を悪化させ、患者さんへの良質な医療の提供を妨げることに繋がりますし、スタッフの採用・定着にも影響を及ぼすなど、患者さんとのトラブル以上に大きな影響を及ぼしやすい傾向にあります。

本書を通じて正しい知識を確認し、より働きやすく、よりよい医療を提供し続けられる歯科医院づくりの一助となれば幸いです。

2023年5月

弁護士・歯科医師

小畑真

